

菊池短歌会

11月詠草

掃き奇する柿の落葉の音かろし漸く秋に傾く朝
いくたびも辞書引きながら手紙書くはや受験期を
ひかへし孫へ 梅田 昭子
朝顔の蕾三つ四つ残る棚暫し待たなむ蔓の片つけ
幼子が握りしめるる林檎の香待合室の空気のまま
黒田 衣子
われもまた鳥合の一人峽に吊る橋に脚より逢ふは
秋風 竹野美智代
さわさわと蓬の葉裏ひるがへり日翳る畑に夕風の
立つ 中川 愛子
枯れ初むる芒・泡立草夏の日の覇氣のごときがま
だこもりをり 中原ちえ子
耕して何を作らむ視野狭めしぐれ過ぎゆくひつじ
田の上 村上 咲江
唯一軒の村の萬屋閉店し軒の椽に秋風冷ゆる
山下 菊代
朝明けの空を遮るすじ雲の南へ流れ秋蘭けてゆく
山代 静子



万句の里俳句会

11月句会

襟元に蕾を残し菊人形
鶯舞ふ島の入江の波止小春
金粉に濁れる蛇や石路の花
詩のやうに紅葉散りゆく深き谷
枯尾花風に梳かれてやはらかし
木犀の香に揺られ来し良き便り
真青なる空も川面も鴨のもの
一片の雲を友とし小春かな
転び傷抱いて早寝の小夜時雨
茶の花の垣根づたひに忌日参
楼門をくぐれば石路の花明り
花石路の揺れにまどろむ庭の石
松永 久子
中路 郁子
高木 陽子
高木 トミ
田中ひさ子
稲田 羚子
梅田 昭子
光本とよいち
小山 照子
田中 美智
吉井 綾子
丸山美代子

肥後狂句桜会

例会入選句集より

やせ我慢 独身主義で言いよらす 小川 繁美
神経質 医学書見ては医者通い 狩野 本六
通りがかり 美人の方に聞かす道 須藤 新生
神経質 目覚しや三つ置いとらす 高倉 新米
通りがかり この署名ならして行こう 光堀 善教
神経質 年中飲ます胃の葉 田中 孝幸
通りがかり つい引つかかる縄のれん 藤由 藤紫
神経質 ユーモアちゆうが無ア御仁 安武 二山

泗水短歌会

11月詠草

からし連根 煮付けにしたらおごられた 窪田 明德
神経質 二番風呂には入らつさん 荒木 玄海
からし連根 お茶受けに良し酒に良し 太田 雄三
神経質 媽はストレス増すばかり 藤野 清子
大島 きと
木犀の小花散り敷きし舗装路を雨はしとどに降り
しだきある
永かりし猛暑漸やくすぎし朝秋待ち侘びて石路の
花咲く 平嶋きくえ
十年振り高千穂訪えば過ぎし日の時しくしくと吾
を攻め来る 長尾はるみ
霜月となるも霜見ぬ温暖化木戸の楓は素枯れ散り
しく 福原美智子
夫の兄弟吾の姉妹も他界せりたつた一人の生かさ
れている 内田つね代
プランターを移せば蛙冬眠を妨げられて色褪せ出
で来 中山 定子
秋空に高くかけたる巢にこもり身じろぎもせぬ蜘蛛
を仰げり 増田久美子
横断を終えて深々礼返す少年があり山茶花の道
穩やかに風吹き抜く紅葉の山又山の暮れなずむ峰
宮本 峯子

せせらぎ俳句会

11月例会

散る萩に新月細き夕べかな 村山 数恵
一石にまつわる話秋の宮 坂本まつえ
あたふたと旅立ち前の冬囲ひ 藤本アツ子
さくく〜とさくく〜と落葉踏む 五丁 義昭
秋日和何をするにもよき日和 寺本 和子
石路咲けば吾れを育てし島を恋ふ 内村 泊虹
茶の花を髪にかざして姿見に 服部 静子
登校時カーブミラーに朝露が (中二) 渡辺 大寿
いつの間に吐く息白くなっている (中二) 渡辺 一史

肥後狂句水笑会

11月例会

なからうか 不老長寿に もて葉 続 義昭
なからうか 別嬪の居る養子口 神尾 凡骨
酒やめて 私ば嫁にほしかなら 平井 江彩
愛妻家 おてて繋いで散歩さす 井手 水光
待ち長さ 暦の〇は年金日 中島 五女
待ち長さ メールばかりが早う来た 清原 英坊
つるし柿 どこも軒下あみのれん 御手洗三代
酒やめて 飯を食い過ぎ今メタボ 宮上 美由

七城短歌会

11月詠草

鳴き交わす水鳥の声姦し歩みとどめて川面を見つ
む 池田カツ子
船下の詩歌の里に孫子等と揺ることなく風情味
あう 池田 禮子
庭畑に二匹の蝶がもつれ合う昼餉ゆ空し一人とな
りて 岩崎 照代
生きがいの庭に植えたるウコンなり覗く葉かげに
薄紅の小花 岩津 涼子
避けられぬ霜枯る身をば予期せしか庭のサルビア
深紅に燃ゆる 下川 つぎ
誰一人逢う事もなき夕の道白き半月山よりいづる
松岡ミチエ
憧れの色に熟れゆく富有柿還暦植樹に応うること
く 水田紗陽子
師の訃報ありては嘆き面影を追う晩秋の入り日ま
近に 森 道子
「お茶ですよ」と呟きながら在りし日に夫好みた
る湯呑みに注みぬ 吉間 充子
新しい餌与うるに金魚たち飽食流行るか食べよう
とせす 堀 甲子

旭志文芸俳句会

11月詠草

無造作に庭をいろどり石路の咲く 芹川のり子
コスモス彩る減反米どころ 芹川 蓉子
秋彼岸去り足早に来る冬の風 出田みとり
台風もそれでよかつたサイロ詰 郷 ミヤ子
作り手も無くて棚田の葛の花 水谷 ミネ
リンドウを供華と購い山下の 東 芳子
凜として秋陽に映ゆる金閣寺 中尾ヨシコ

